

統計アラカルト

毎勤で見たパートタイム労働者の賃金について

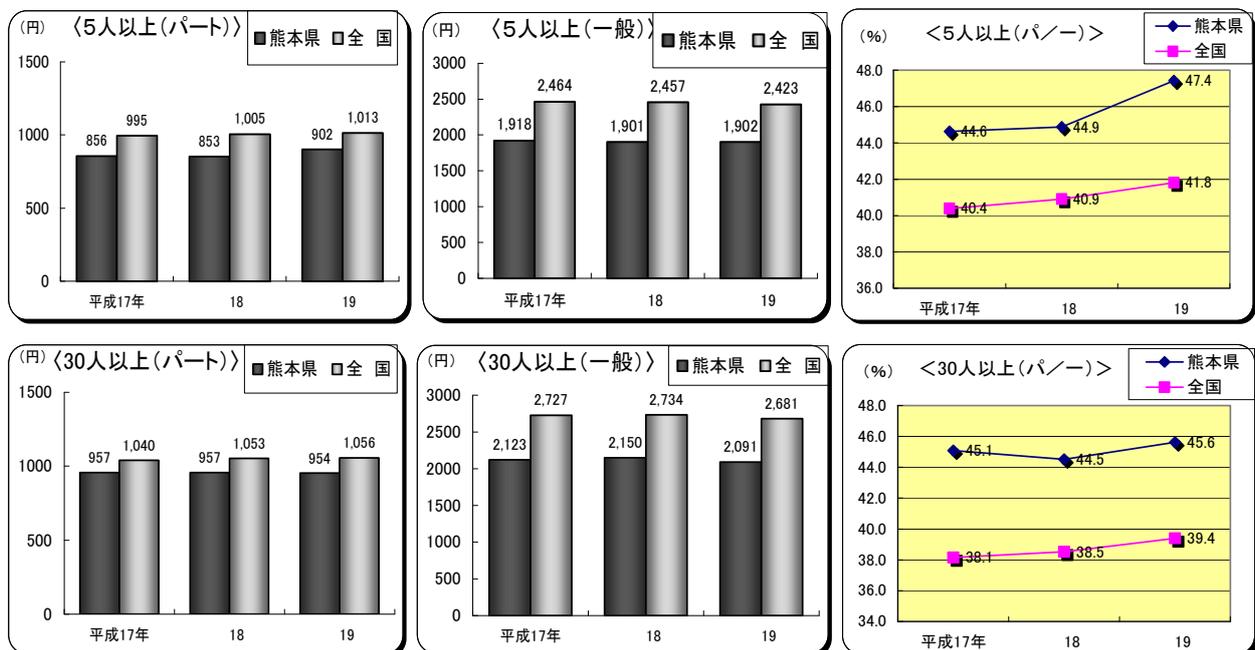
パートタイム労働法が改正され、今年4月に施行されるなど、パートタイム労働者の労働条件等の改善を図る動きがあります。

こうしたなか、平成17年から平成19年までの毎月勤労統計調査結果（年平均）におけるパートタイム労働者と一般労働者の賃金について、全国と本県の状況について見てみました。

下のグラフで、事業所規模5人以上及び30以上に於いて、パートタイム労働者及び一般労働者の時間単価、パートタイム労働者の一般労働者に対する時間単価の割合について示してみました。なお、時間単価は現金給与総額を総実労働時間で割って算出しました。その結果、3つの特徴を見いだしました。

一つ目は、パートタイム労働者、一般労働者とも本県が全国より時間単価が低くなっていることです。二つ目は、本県と全国との時間単価の格差は、パートタイム労働者の方が一般労働者より小さくなっており、事業所規模別では5人以上の方がより格差が大きくなっていることです。三つ目は、本県が全国よりパートタイム労働者と一般労働者の時間単価の格差が小さくなってきていることです。

時間単価で見ると、パートタイム労働者と一般労働者の賃金格差は大きく、さらなる、パートタイム労働者の労働改善が求められるところです。



*現金給与総額とは、賃金、給料、手当、賞与その他名称の如何を問わず、労働の対償として使用者が常用労働者に通貨で支払う（税込み）もので、「きまって支給する給与（所定内給与+超過労働給与）」と「特別に支払われた給与（賞与等）」との合計をさします。

*パートタイム労働者とは、常用労働者のうち次のいずれかに該当する労働者のことです。

- ① 1日の所定労働時間が一般の労働者より短い者。
- ② 1日の所定労働時間が一般の労働者と同じで、一週の所定労働日数が一般の労働者より短い者。

毎月勤労統計調査特別調査について

毎月勤労統計調査は、雇用労働者の賃金、労働時間及び雇用の毎月の変動を明らかにする調査で、統計法に基づく指定統計(第7号)に指定されています。調査体系は、全国調査、地方調査及び特別調査から成り、全国調査にあつては全国の変動を、地方調査にあつては都道府県別の変動を明らかにし、また、特別調査は、全国調査及び地方調査の補完を目的としています。

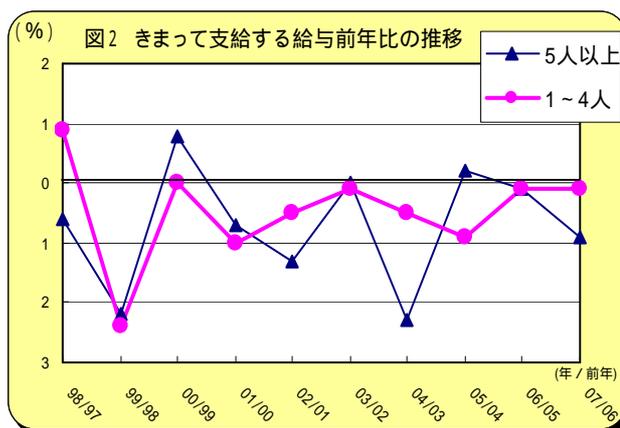
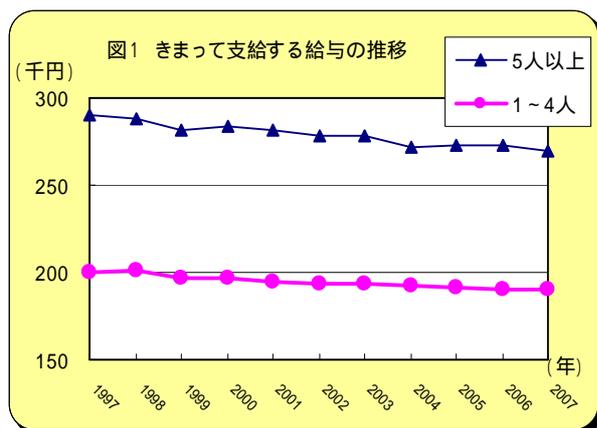
特別調査では、毎月の調査でカバーしていない常用労働者1～4人の事業所における雇用、給与及び労働時間等を明らかにするため年1回実施しています。なお、調査期日は調査実施年の7月末現在です。

下の図では、毎月実施している全国調査における常用労働者5人以上の事業所と特別調査での常用労働者1～4人の事業所における「きまって支給する給与」の金額及びその前年比の推移をグラフにしてみました。なお、比較のため全国調査は、各年の7月の数値を用いています。

まず、図1では、5人以上と1～4人の区分の「きまって支給する給与」の10年余りの推移を表しています。2つの区分とも賃金が低下傾向にあります。

次に、図2で「きまって支給する給与」の前年比の推移を見ると、2つの区分とも前年比は減少している年が多いのですが、特に、1～4人の区分では、2001年から7年連続して前年比がマイナスとなっています。

これらから、労働者の賃金に関して、小規模な事業所においてはより厳しい状況にあることがうかがえます。



* 「きまって支給する給与」とは、労働契約、団体協約あるいは事業所の給与規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、「超過労働給与」を含みます。なお、グラフ中の「きまって支給する給与」は、1人あたりの平均月額です。

熊本県の高速道路利用

皆さんは、現在熊本県内にインターチェンジ(以下 IC という。)がいくつあるかご存じでしょうか？正解は 11 カ所です。仕事や遠出をする際によく利用する高速道路。ここでは、過去 10 年間の交通量の推移を見てみます。

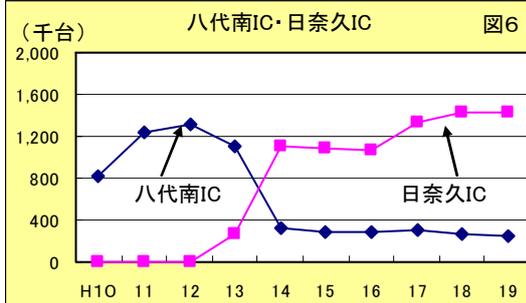
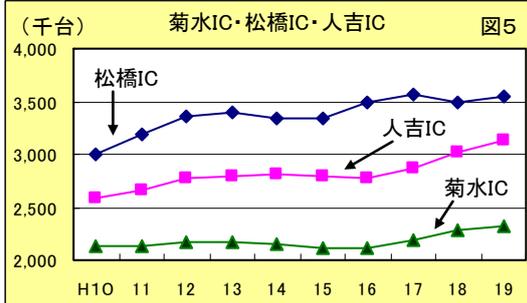
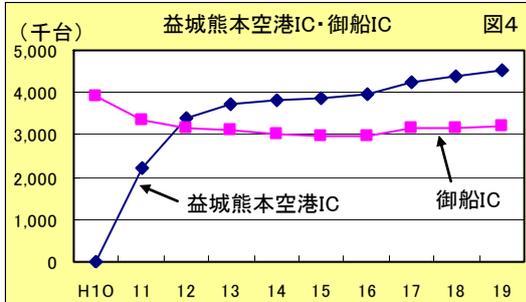
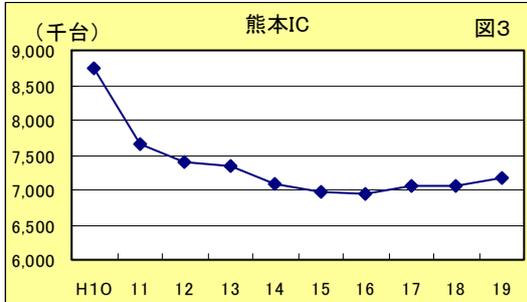
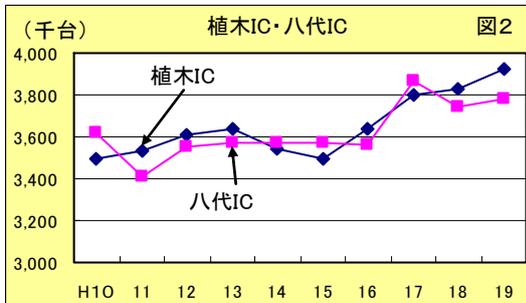
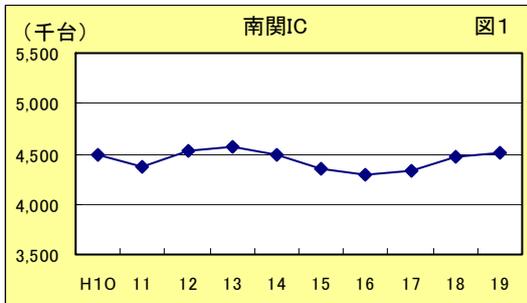
下のグラフは各 IC の出入台数です。11 カ所中、7 カ所(菊水, 植木, 益城熊本空港, 松橋, 八代, 日奈久, 人吉)で右肩上がりの増加傾向にあることが分かります。南関 IC はほぼ横這いで推移しており、熊本 IC と御船 IC はH10 から減少しています。なお、熊本 IC のH10 年からH11 年にかけて大幅に減少しているのは、H11 年の益城熊本空港 IC 開通したことが要因となっています。

八代南 IC と日奈久 IC の関係では、日奈久 IC が開通したことにより、今まで八代南 IC を利用していた人の多くが日奈久 IC を利用するようになり、H14 年には日奈久 IC の利用者のほうが多くなっていることが見てとれます。

今回簡潔にグラフ化し、交通量を見てみました。1つの統計のご紹介として挙げましたが、交通量を月別に見たり、各 IC 近くのテーマパークや大型ショッピングセンター立地の有無又は観光地によって交通量にどのような影響を及ぼすか「熊本県観光統計表」などを併せて調べてみるのもいいかもしれません。

本紙の 29 ページに高速道路交通量のデータが掲載されていますので、ご活用ください。

資料出典：西日本高速道路(株)九州支社



統計アラカルト

強くなってきたユーロ・・・

米国では、サブプライムローン問題に端を発し、度重なる政策金利の引き下げにもかかわらず株価が回復しないなど経済が減速しており、世界各国に悪い影響を与えています。加えて、原油価格、小麦やトウモロコシなどの穀物価格及び各種原材料価格の大幅な上昇等で、世界的にも、インフレと景気後退が同時進行するスタグフレーションの発生が懸念されています。

ところで、下のグラフは平成14年1月から平成20年7月までのユーロの日本円及び米ドルに対する為替相場の推移をあらわしたものです。ユーロの価値は、円及び米ドルに対しおおむね右肩上がり推移しており、このグラフで示している6年半余りで、円に対しては約45%、米ドルに対しては約80%も上昇しています。

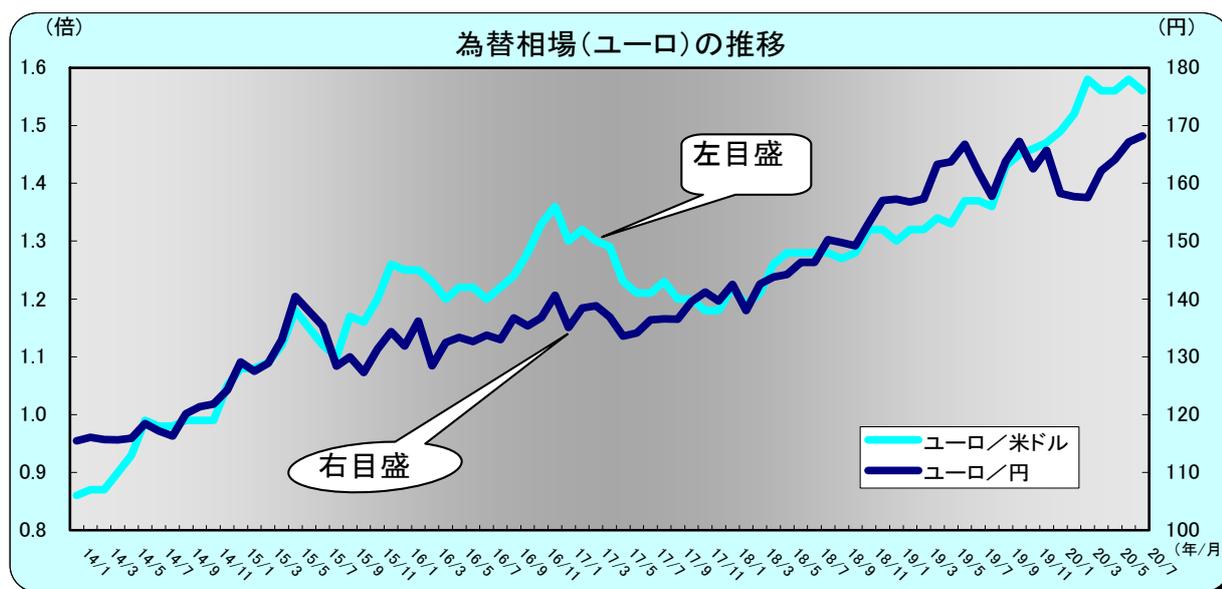
また、外貨準備や国際決済に利用される割合は、まだ米ドルが上回っているとはいえ、ユーロの比率が上昇しています。

こうした状況の中、これまで世界の基軸通貨として長年君臨した米ドルの地位が危うくなっていくのではないかと懸念されています。

今後の予想としては、大きく三つの方向が考えられますが、専門家の間でも意見が分かれています。

- ①米ドルの基軸通貨体制が崩れ、ユーロが米ドルにとって代わって基軸通貨となる。
- ②ユーロが基軸通貨となることはなく、米ドルがこのまま基軸通貨として君臨する。
- ③ユーロが米ドルと並んで基軸通貨となり、二極通貨体制となる。

為替相場の行方を含め、米国やユーロ圏を始め世界経済の情勢から、いよいよ目が離せなくなってきました。



*各月末の為替レート水準を基にグラフにしたものである。

毎勤で見た事業所規模別のパートタイム労働者比率について

今年4月に改正されたパートタイム労働法が施行され、パートタイム労働者の処遇改善を図るとともに、一般労働者（正規従業員、正社員・正職員等）への転換を推進するための措置を講ずることとされています。

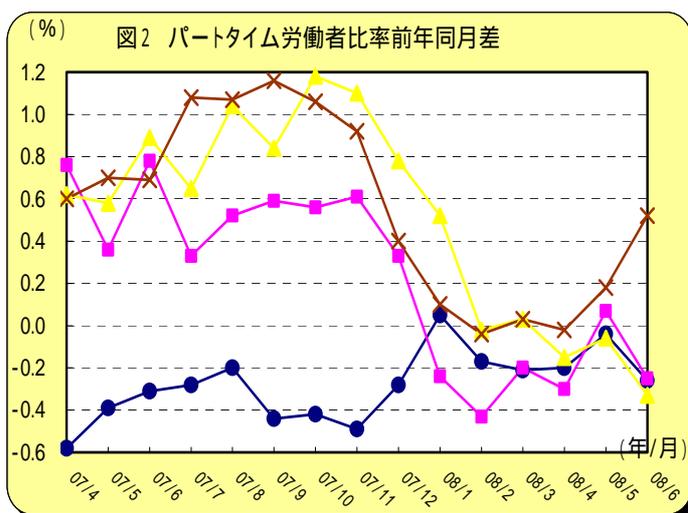
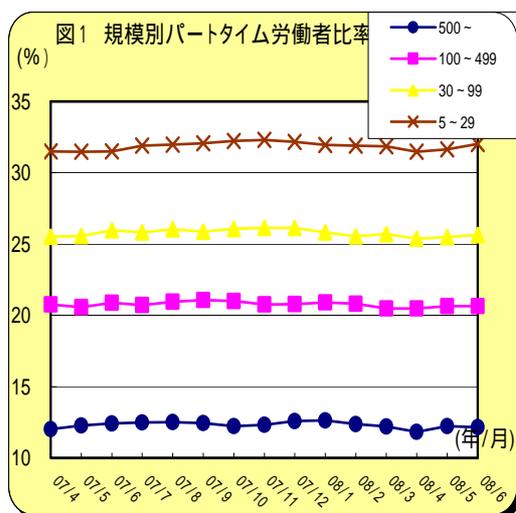
こうしたなか、平成19年4月から平成20年6月までの毎月勤労統計調査全国調査結果からパートタイム労働者比率の推移を見てみました。

下のグラフでは、事業所規模を500人以上、100人から499人、30人から99人及び5人から29人の4区分に分けて、パートタイム労働者比率推移及びパートタイム労働者比率の前年同月差の推移を示してみました。

図1では、パートタイム労働者比率は事業所規模の大きい区分程小さくなっています。4区分とも各月の比率の推移に大きな動きは見られません。

図2では、前年同月差の推移をみると、19年4月から12月までは、500人以上区分では、対前年同月差がマイナスとなっていますが、他の3区分ではいずれもプラスとなっています。また、平成20年1月以降は、5人から29人の区分を除き、対前年同月差がマイナスとなっている月が多くなっています。全般的には、事業所規模の大きな区分程、対前年同月差がマイナスとなっている月が多くなっています。

特に、500人以上区分では、平成20年1月を除き、パートタイム労働者比率前年同月差がマイナスとなっており、パートタイム労働法改正に備え、パートタイム労働者の一般労働者への転換を進めた事業所が多かったのではないかと思います。



凡例は図1と同じ

*パートタイム労働者とは、「パートタイマー」「アルバイト」「嘱託」「契約社員」「臨時社員」「準社員」など、名称の如何にかかわらず、常用労働者のうち次のいずれかに該当する労働者のことです。

1日の所定労働時間が一般の労働者より短い者。

1日の所定労働時間が一般の労働者と同じで、一週の所定労働日数が一般の労働者より短い者。

こんな確率って!?

もし「他人同士である 40 人の中で、誕生日が同じである人が少なくとも 1 組はいるでしょうか？」という賭けがあったとしたら、あなたはどちらに賭けますか？

ほとんどの人が「いない」に賭けるのではないのでしょうか。

しかし、「いない」に賭けた人は約 9 割の確率で負けてしまいます。

この問題を基に、「n 人の中で、誕生日が同じである人が少なくとも 1 組はいる確率」を検証してみました。
(注)ここでは閏年は考えないこととする。

まず、「誕生日が同じである人が少なくとも 1 組はいる確率」は、「n 人全員の誕生日が異なる確率」の反対(余事象)なので、1 (100%)からこの余事象を引くことによって導かれます。

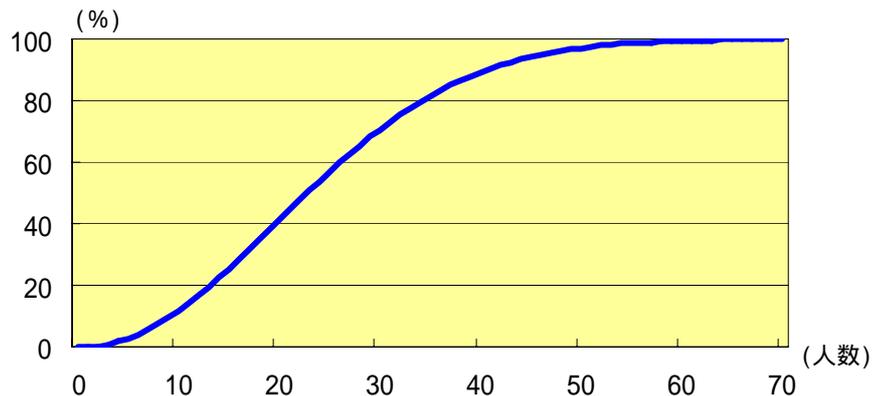
$$\text{「n 人全員の誕生日が異なる確率」} = \frac{365 P_n}{365^n}$$

よって

$$\text{「誕生日が同じである人が少なくとも 1 組はいる確率」} = 1 - \frac{365 P_n}{365^n}$$

Excel を用いて計算した結果が下の表とグラフです。

人数	少なくとも2人の誕生日が同じになる確率(%)
10	11.695
15	25.290
20	41.144
25	56.870
30	70.632
35	81.438
40	89.123



計算結果から 40 人の場合、約 9 割の確率で「誕生日が同じである 2 人の組が少なくとも 1 組はいる」ということになります。ちなみに 23 人の場合で約 50%を超える確率となります。

学校や職場などで誕生日が同じ人達がいる確率は、けっこう高いですよ…。

ここでご紹介した内容は、「自分と同じ誕生日の人がいる確率」ではないので御注意下さい。

自動車で見える統計

熊本県では、乗用自動車として普通車 215,111 台、小型車 382,737 台、軽自動車 318,679 台の計 916,527 台が登録されています。
 (普通車・小型車：平成 19 年 3 月 31 日現在の国土交通省九州運輸局熊本運輸支局の資料による。)(軽自動車：平成 19 年 3 月 31 日現在の全国軽自動車協会の資料による。)

●乗用自動車登録数、世帯数順位(48市町村)

市町村	登録数上位5	世帯数	市町村	登録数下位5	世帯数
熊本市	316,833	1 位	五木村	686	48 位
八代市	65,748	2 位	産山村	921	47 位
天草市	41,920	7 位	水上村	1,148	46 位
玉名市	38,129	4 位	山江村	1,880	45 位
宇城市	33,224	17 位	球磨村	2,067	44 位

市町村別の登録台数をみると上位には市が占めており、下位は村が占めています。上位については若干のばらつきがありますが、世帯数上位と下位のデータはほぼ一致します。

ここで、少し視点を変えてみましょう。

1世帯あたり何台所有しているのか？

市町村別にみると、登録数 1 位の熊本市が下位グループに移っています。

●1世帯あたり乗用自動車登録数、世帯数順位(48市町村)

市町村	登録数上位5	世帯数	市町村	登録数下位5	世帯数
宇城市	3.25	17 位	阿蘇市	0.47	3 位
菊池市	2.22	11 位	上天草市	0.71	5 位
天草市	2.15	7 位	苓北町	0.88	11 位
甲佐町	1.97	28 位	熊本市	1.15	1 位
西原村	1.94	38 位	水俣市	1.19	14 位

宇城市、天草市は上位をキープしておりますが、登録数下位グループは全て順位が上がっています。

次に行政区域別の 1 世帯あたり登録数をみると宇城が 1 位、阿蘇が最下位になっています。

単純に車の多さで考えると市が上位になっていきますが、1 世帯あたりになると上位が下位に移ったり、下位の順位が上がったりします。

この原因として、公共交通機関の状況、年齢人口の分布の状況、就業構造の状況等、様々な要因が考えられ、よりの確に原因を追及するには要因ごとの相関関係に強さまで検証することが必要になるでしょう。

統計は、見る角度によっていろんな答えが存在することを念頭に、一つのデータを様々な角度で検証し利用しましょう。

順位	行政区域	1世帯あたり自動車保有数
1 位	宇 城	2.19
2 位	鹿 本	1.8
3 位	菊 池	1.65
4 位	上益城	1.63
5 位	玉 名	1.51
6 位	球 磨	1.46
7 位	八 代	1.39
8 位	天 草	1.36
9 位	芦 北	1.28
10 位	熊本市	1.15
11 位	阿 蘇	0.77
平均		1.35



くまもと県民の嗜好



年末・年始及び新生活が始まる3～4月は、出費が増える時期です。

今回は総務省統計局がまとめた『家計調査（二人以上の世帯） 都道府県庁所在市別ランキング（平成17～19年平均）』をご紹介します。これは、家計調査から品目別に「二人以上の世帯（1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」について集計されたものです。

表は、集計されたものから品目別の支出金額で熊本市（熊本県）が全国上位3位以内に入る品目を掲載したものです。

表について見てみると、1位は「他の生鮮肉」「すいか」「スナック菓子」「弁当」の4品目。2位は「即席めん」「みそ」の2品目。3位は「たい（鯛）」「キャベツ」「焼酎」の3品目となっています。

（表） 二人以上の世帯（1世帯当たり年間の支出金額）

都道府県庁所在市別ランキング（川崎市及び北九州市を含む）

品名／順位	全国	金額（円）	品名／順位	全国	金額（円）	品名／順位	全国	金額（円）
他の生鮮肉	熊本市	5,404	弁当	熊本市	20,582	たい（鯛）	北九州市	4,215
1位	熊本市	5,404	1位	熊本市	20,582	1位	北九州市	4,215
2位	札幌市	3,929	2位	広島市	18,017	2位	佐賀市	3,926
3位	福岡市	3,496	3位	静岡市	17,865	3位	熊本市	3,832
すいか	熊本市	2,099	即席めん	鳥取市	2,254	キャベツ	福岡市	2,757
1位	熊本市	2,099	1位	鳥取市	2,254	1位	福岡市	2,757
2位	徳島市	2,036	2位	熊本市	2,133	2位	北九州市	2,729
3位	千葉市	2,006	3位	高知市	2,112	3位	熊本市	2,654
スナック菓子	熊本市	5,416	みそ	長野市	3,545	焼酎	宮崎市	14,114
1位	熊本市	5,416	1位	長野市	3,545	1位	宮崎市	14,114
2位	大分市	5,256	2位	熊本市	3,339	2位	鹿児島市	13,183
3位	鳥取市	5,179	3位	秋田市	3,288	3位	熊本市	10,703

（資料出典）総務省統計局「家計調査」より 「総務省統計局HP」 <http://www.stat.go.jp/>

今回は全国で上位3位以内に入る品目のみを掲載しましたが、興味のある方はこの9品目以外の品目でも熊本の順位がどれくらいなのか見てみるのもいいのではないのでしょうか。また、違う品目同士の関係を探ってみたり、他の調査と併せて関係関係を見るのも面白いかもかもしれません。

統計データを利用するとき、「どのような調査」があるのか、またその調査から「どのような結果」が得られるのかを知っていると非常に便利です。ここでご紹介した家計調査結果はほんの一部ですが、このようなデータがあるということを知れば幸いです。

※「他の調理食品」…主食的調理食品に分類されない調理食品及び食料に関するすべての加工賃。 例) 冷凍品、惣菜など。

※「他の生鮮肉」…牛肉・豚肉・鶏肉・合いびき肉に分類されない鳥獣肉及び鳥獣の臓もつ。

例) 馬肉・かも・食用蛙・すっぽん・もつ(レバー はつ)など。

※「弁当」…飲食店以外の持ち帰りのもの。すし(弁当)、おにぎり、調理パン、冷凍品などは除く。

例) 幕の内弁当、焼肉弁当、折詰弁当、駅弁など

株価大幅下落・・・

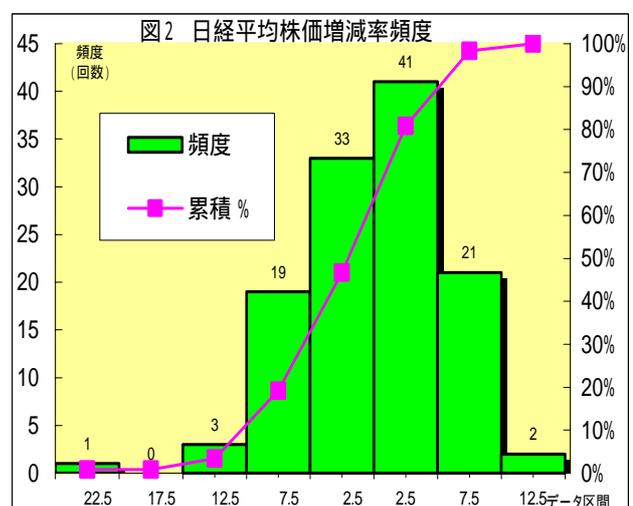
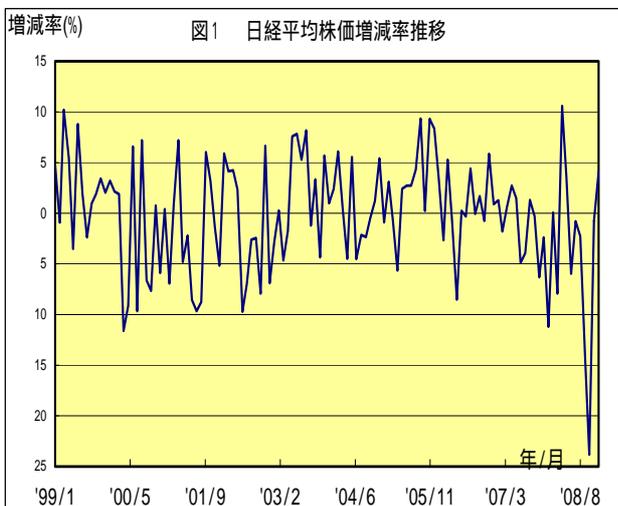
サブプライムローンによる米国の住宅バブルの崩壊に始まり、昨年9月の大手証券会社リーマン・ブラザーズの破綻をきっかけとして、世界金融危機が発生しました。その後、急速な雇用不安や消費の冷え込みなどに加え、各種経済指標も大幅に悪化するなど、実体経済にも多大なる悪影響が出てきており、100年に1度の世界同時不況が訪れたのではとされています。

この間、世界各国の株式市場では、株価が大幅に下落しております。日本でも、代表的な株価の指標である日経平均株価は、金融危機に加え、為替市場での円高の影響等もあり、昨年1年間で約42%下落しましたが、株価下落がいかに凄まじいものだったかをグラフにしてみました。

下のグラフでは、1999年1月から2008年12月まで10年間の日経平均株価の各月の終値について、図1では前月比増減率の推移を、図2では前月比増減率の頻度をあらわしてみました。なお、この10年間の前月比増減率の平均はマイナス0.2%で、標準偏差は5.68%となっています。

この中で、昨年(2008年)は、株価の前月比が12ヶ月のうち8ヶ月が下落しており、6月から11月の6ヶ月間連続で下落しています。また、前月比10%以上の下落が、1月(マイナス11.21%)、9月(マイナス13.87%)、10月(マイナス23.83%)の3回も発生しています。過去10年でも前月比10%以上の下落は、2000年4月(マイナス11.62%)の1回のみだったことや、9月と10月に2ヶ月連続して大幅に下落した(特に10月の下落がもの凄かった)ことから、異常な株下落であったことが見てとれます。

今回の不況は長引くとの予想が多く、今後の経済見通しも、厳しいものになっていますが、できる限り早い段階での景気回復を望むところです。また、景気の先行指標である株価の動きから目が離せなくなってきました。



*各月末の日経平均株価を基にグラフにしたものである。

くまもとなんでんかんでん日本一! (?)

「熊本の日本一」さて、この言葉を聞いて皆さんの中にはいくつ思いつきますか？

私自身なんとなく、日本一だろうと思うものはでてきますが、それが本当に日本一かと根拠を知らないが為の疑問を生じることがあります。

統計調査課には、統計資料室があり様々な機関からの統計資料が保存されています。

また、当課では統計データの収集のためいろんな情報を整理しています。

そんな中でいくつか興味がわくデータが存在します。

それが、日本一のデータです。有名なものから不確定なもの、オンリーワンによる日本一といろんなものが、統計データを見ることで分かります。

それでは、いくつかのデータを挙げてみたいと思います。

まずは、農産物についてです。

農産物生産量日本一

熊本県農林水産部発行の熊本県農業動向年報によると、右表のとおり6つの品目が日本一になっています。

	単位	全国	熊本県
いぐさ	千t	・・・	14.8
デコボン	千t	・・・	13.1
なつみかん	千t	58.1	12.6
トマト	千t	726.3	86
宿根カスミソウ	千本	67,300	22,300
すいか	千t	418.7	62.4

次に、熊本は水がきれいと言われておりますが、環境省の平成、昭和名水百選ではトップタイの合計8カ所が選出されております。

昔からあるものとしては、江戸時代からの石橋(271カ所)や、山都町にある水路橋の通潤橋(長さ75.6m)、美里町にあるア

ーチ式石橋の霊台橋(長さ89.86m)、山鹿市や玉名市をはじめ県内各地の装飾古墳(193カ所)があります。

そのほかの日本一として、美里町の石段(3,333段)、芦北町の鬼瓦(面積36㎡)、天草市のえびす像(高さ10m)、南阿蘇村の野外ステージアスペクタ(面積1,803㎡)などがあります。

私たちの身の回りには、気づいていないだけの日本一が意外と近くにあるかもしれません。もし、お気づきの日本一などがあれば統計調査課へご連絡頂ければ幸いです。

平成18~19年度熊本県農業動向年報



春といえば・・・卒業、入学、退社、入社等・・・そして、桜ですね。

今年の開花日は3月16日でしたが、気候温暖化と言われているここ数年、桜の開花日はどうなっているのでしょうか？

熊本地方気象台の過去データを8年ごとに平均し、グラフ化してみると気温の上昇と共に開花日が早くなっていることが分かります。

また、1953年から現在までの一番早い開花日は、1997年の3月15日です。一番遅い開花日は1962年の4月2日です。

生活水準の向上によるエネルギー利用の増加、ビル、舗装道路等によるヒートアイランド現象など様々な温暖化の原因が考えられます。

桜は一番身近な気象観測装置なのかもしれません。(春限定ですが・・・)

桜が早く咲けば酒が飲めると浮かれずに、地球環境についても考えていただければ幸いです。

サクラの開花日と平均気温

年	平均開花日	3月平均気温
1953～1960	3月24.3日	16.1
1961～1968	3月27.8日	16.1
1969～1976	3月26.5日	16.0
1977～1984	3月25.1日	16.2
1985～1992	3月23.6日	16.7
1993～2000	3月23.3日	17.0
2001～2008	3月22.5日	17.5

